

○評価区別

A:十分である(4点) B:おおむね十分である(3点) C:やや不十分である(2点) D:不十分である(1点) E:わからない(平均集計外)

対象	目標達成のための評価の観点《学校評価(自己評価)項目》	達成状況						中間評価との比較				
		A	B	C	D	E	評価	平均	増減	中間評価		
学習指導	1 生徒が自ら課題を設定し、課題解決を図る学習活動に取り組みえたか	7	25	10	2	2	B	2.8	0.26	↗	B	2.6
	2 生徒の主体性を引き出し、知識の活用及び学びに向かう態度を育成する学習指導ができたか	1	26	14	2	3	B	2.6	0.14	↗	C	2.5
	3 学習の振り返りを重視し、多様な評価の場面を設定することで指導と評価の一体化が図られたか	5	24	11	2	4	B	2.8	0.00	↔	B	2.8
	4 生徒の主体的、協働的な学びの充実に向け、工夫・改善を図ることができたか	4	17	13	6	6	C	2.5	0.02	↗	C	2.5
生徒指導	5 学校としての生徒指導方針を共有し、自己管理能力及び自己肯定感の深長を図ることができたか	2	24	15	3	2	B	2.6	0.23	↗	C	2.3
	6 学校からの情報を計画的に発信し、保護者と連携して生徒の自立性、社会性を育成できたか	2	33	9	0	2	B	2.8	0.11	↗	B	2.7
	7 学校生活のあらゆる場面で、きめ細やかな心の通い合う指導をすることができたか	4	31	8	0	3	B	2.9	0.17	↗	B	2.7
	8 生徒会活動や部活動等を通じ、生徒が主体的に活動し、活性化を図ることができたか	4	26	12	1	3	B	2.8	0.10	↗	B	2.7
進路指導	9 生徒の社会的、職業的な自立に向けて、学年に応じたキャリア教育の充実を図ることができたか	4	27	11	0	4	B	2.8	-0.07	↘	B	2.9
	10 地域の教育力を生かし、望ましい職業観、勤労観を養うことができたか	5	28	10	1	2	B	2.8	0.20	↗	B	2.6
	11 講習、模試・検定等の実施、活用やアカデミックインターンシップ等により、進路意識を高め、資質向上を図ることができたか	2	27	14	2	1	B	2.6	-0.24	↘	B	2.9
	12 多様な進路希望に対応する指導体制を構築し、個別の進路指導の充実を図ることができたか	2	24	14	5	1	C	2.5	-0.26	↘	B	2.8
健康安全指導	13 自他の生命や多様な価値観を尊重する態度の育成を図る教育活動ができたか	2	35	7	1	1	B	2.8	0.08	↗	B	2.8
	14 自らの心身について、健康を保持し危険を回避する態度・能力を養うことができたか	1	32	11	1	1	B	2.7	-0.02	↘	B	2.8
	15 多様な教育活動を通して自己有用感や社会性を身に付ける態度を養うことができたか	1	35	5	2	3	B	2.8	0.23	↗	B	2.6
	16 あらゆる機会を通じて主体的に心身の健康増進を図る態度を養うことができたか	2	31	8	1	4	B	2.8	0.07	↗	B	2.7
組織運営	17 スクール・ミッション、ポリシーに基づき、その具現化のための取り組みを推進することができたか	2	34	7	0	3	B	2.9	0.13	↗	B	2.8
	18 組織的に学校の危機管理・安全管理に取り組み、生徒の実践的な防災防犯教育の充実を図ることができたか	4	29	8	3	2	B	2.8	-0.02	↘	B	2.8
	19 学校の諸課題に対し各部署が共通理解を図り、連携して対応することができたか	1	24	14	5	2	C	2.5	0.11	↗	C	2.4
	20 学校の諸課題に対し各種会議や委員会での合意形成により、課題解決を図ることができたか	2	30	12	0	2	B	2.8	0.22	↗	C	2.5
いじめ対策	21 「いじめ防止基本方針」にもとづき適切な組織的対応を行うことができたか	9	34	2	0	1	B	3.2	0.01	↗	B	3.1
	22 人格尊重の精神を育成する教育活動を推進することができたか	3	37	5	0	1	B	3.0	-0.07	↘	B	3.0
	23 SNS等によるネットいじめ防止のための機器の取扱いや情報モラル教育を適切に実施することができたか	2	32	9	1	2	B	2.8	0.15	↗	B	2.6
	24 いじめの問題について適切に情報提供するなど保護者等と連携して対応することができたか	4	32	5	0	5	B	3.0	-0.09	↘	B	3.1
信頼される学校づく	25 校務等の業務計画・事務処理について根拠を持って適切に対応することができたか	8	32	4	1	1	B	3.0	-0.09	↘	B	3.1
	26 いかなる場合も教育公務員としての自覚を持ち、服務規律を遵守した行動ができたか	26	18	0	1	1	B	3.5	-0.04	↘	A	3.6
	27 生徒に対する体罰や不適切な指導、発言を厳に慎み、教育活動に取り組むことができたか	23	19	3	0	1	B	3.4	-0.11	↘	A	3.6
	28 経験に応じた研修に努め、自らの資質能力の向上を図ることができたか	5	29	7	4	1	B	2.8	-0.02	↘	B	2.8
今日的課題	29 生徒の学びの充実を目的に、教育課程の工夫、改善及び組織体制、施設設備の改善が図られたか	3	28	13	1	1	B	2.7	0.10	↗	B	2.6
	30 北海道アクションプランに基づき、勤務時間を意識した働き方を実践することができたか	4	16	19	5	2	C	2.4	-0.14	↘	B	2.6
	31 教科指導等を通じて、成人の自覚と行動につなげることができたか	3	31	7	1	4	B	2.9	0.08	↗	B	2.8
	32 部活動の基本方針に基づいた適切な活動や指導に努めるよう工夫・改善することができたか	5	32	5	3	1	B	2.9	-0.04	↘	B	2.9
								2.8	0.04	↗		2.8

評価については、各項目の平均点によって算出した。

A 4.0~3.6
B 3.5~2.6
C 2.5~1.6
D 1.5~1.0